- 令和7年度町村議長・副議長研修会（東京都） 浅沼 憲春
令和7年5月27日 12時45分～16時45分

演題・講師

- ①広域災害対応を含めた自治体の災害対応力強化に不可欠な「防災DX」
内閣府政策統括官（防災担当）付参事官 松本真太郎
- ②平成からの災害の学ぶ復旧・復興まちづくりの課題
明治大学名誉教授 青山侑
- ③災害と議会・議員の役割
同志社大学名誉教授 新川達郎

成果

三人の講師の先生方から災害に対する、議会と議員の対応について行動と役割について述べられ、島での災害時に大変参考なるものと思いました。特に同志社大学名誉教授の新川達郎先生の災害と議員の役割に興味を持ちました。

議会は災害発生に対し、以前は特に何をやる役割はなかったですが、阪神淡路大震災、東日本大震災等の大規模災害の発生を受け防災や減災に積極的に取組、議論等の対策が必要と認識されるようになった。

災害が発生してからではなく、普段から防災や減災の取り組みを、議会が防災計画の策定や業務継続計画（BCP）等に関与し、議論を重ね対策の重要から機能継続、早期回復、維持の体制をいかに早く構築できるかが重要である。

議員の役割は発生時に自治体との連携、住民の要望の取り纏め、地域の避難体制等の役割や、積極的な行動・活動等が重要で必要である。

議会の責任は災害対策と、復旧・復興に大きな責任を負う必要が重大であり、被害状況の把握や復興計画の関与等、住民の声に応える事も重要であり、議員の緊急時の対策会議の設置、自治体の災害本部と連携する必要性があると思慮します。

上記で述べたように、これまで災害時に議員の役割はなかったものを、大規模災害を機に、議会の認識や行動を変え、積極的な役割の必要性を話され、本島に於いてもいつ災害が起きるか解らず、そのための準備する必要性の重大性を感じられました。